

目次

□巻頭言	公害と建設の機械化……………清水 四郎	1
□座談会	建設機械大形化の問題点……………	2
□随想	ポンプ浚渫船雑感……………内田 豊	12
□協会の事業活動	社団法人日本建設機械化協会定款……………	14
	本協会の事業について……………	15
	本協会各部会および建設機械化研究所の動き……………	16
□部会報告	新刊図書を紹介……………広報部会	
	“岩石トンネル掘進機文献抄録集”……………原島 龍一	23
	“モータグレーダと締固め機械”……………杉山 庸夫	24
	“建設機械の損料と経費”……………渡辺 茂	26
	“場所打ちぐい施工ハンドブック”……………高岡 博	28
	“自走式クレーンの安全マニュアル”……………月岡 照	30
□部会研究報告	トラックミキサの騒音測定報告……………コンクリート機械技術部会	32
	動力ウィッチ JIS 見直し審議内容……………機械技術委員会	37
	およびアンケート調査結果……………荷役機械技術委員会	
	路面積雪の分類……………施工技術部会	42
	スノーシュッドの実態調査……………道路除雪委員会	48
	土質試験自動化委員会研究報告……………施工技術部会	52
	……………土質試験自動化委員会	
	機械損料の一部改訂の概要……………調査部会	55
	……………建設機械損料調査委員会	
	ISO 部会設立の経緯……………I S O 部会	61
グラビヤー除雪機械展示実演会		
	昭和44年度除雪機械研究会の概要……………田中 康之	65
	Construction Methods & Equipment より	
	将来の建設機械と建設用資材……………調査部会	73
	……………文献調査委員会	
□建設機械化講座 第84回 現場フォアマンのための土木と施工法	XIV. 機械化施工の安全指針	
	1. 概説……………伊丹 康夫	78
□新機種紹介	エルゼ掘削機(H型)……………水野 一明	85
□建設機械化研究所抄報	試験研究報告(No. 63)……………建設機械化研究所	86
□文献調査	空港の舗装工事……………調査部会	96
	……………文献調査委員会	
	厚層の空港舗装……………調査部会	97
	……………文献調査委員会	
ニユーズ……………(編集部)		99
会員消息……………		101
行事一覽……………		102
編集後記……………(中野・三浦)		104

◀表紙写真説明▶

エルゼ掘削機(H型)

株式会社 熊谷組

エルゼ掘削機H型は、他の機械では不可能な40mの深さの地中壁を経済的にしかも極めて高い垂直精度で掘削ができる。すべてを油圧機構としているので、騒音や振動を発生せず、市街地の施工に有利な機械である。ダム等の地中遮水壁、地下鉄、地下道、暗きょ等の地下壁、ポンプ場等に用いて最もよい効果を挙げることが期待されている。

(本文 85 頁参照)